

白銀中学校の環境教育

～2泊3日の農業体験学習（1学年 総合的な学習の時間）～

白銀中学校の総合的な学習の時間では各学年ごとに特徴的な体験的な学習を行っている。1 学年では農家に 2 泊して農作業を手伝う体験活動を実施しており、環境教育（環境についての理解を深め、責任をもって環境を守るための行動をとれるようにする）の一環として捉えることもできる。



1. 1 学年「総合的な学習の時間」の概要

(1) 1 学年テーマ 「生き方に学ぼう」（自然・環境の視点から）

(2) 目的（育てたい力）

①相手の立場を考えながら、いろいろな人と触れ合うことができる力

②自分で課題を見つけ、いろいろな方法で調べ、わかりやすくまとめたり発表する力

(3) 1 学年の学習内容

①青森県の「食・農業」についての調べ学習（5 月～7 月）

・南部町担当の方からのお話 ・農業についての新聞作成 ・地域ゴミ拾い活動と調理体験

②農業体験学習（2 泊 3 日）とまとめ（8 月～10 月）

・152 名がグループに分かれて農家（南部、三戸町）に宿泊し農作業を体験する。（2 泊 3 日）

・まとめ（評価、お礼と個人新聞の作成）

③職業調べ（11 月～2 月）

・次年度実施予定「グッジョブ・ウィーク事業」へのつながりとして職業について調べ、まとめる。

2. 農業体験学習のねらい

(1) 2 泊 3 日の農業体験を通して、健全な勤労観を養うとともに豊かな知見を育む。

(2) 農家の方との交流を通して、社会性を高めるとともに感謝の心を育てる。

(3) 班での活動を通して、友情を深めるとともに協力の精神を培う。

* 農作業を体験することは、自然に触れ環境に対する知識や理解が深まる「環境教育としての体験活動」であるといえる。

3. 実際の活動（今年は 9 月 2 日～4 日に実施）

(1) 当日 3 日間の流れ（概要） * 1 学年 152 名が約 40 班に分かれて農家に宿泊。

① 1 日目→学校から出発、入村式、農家へ移動、昼食、農作業、夕食・交流、就寝

② 2 日目→起床、朝食、農作業、昼食、農作業、夕食・交流、就寝

③ 3 日目→起床、朝食、離村式、学校到着、感想文・お礼の言葉等の作成

(2) 主な農作業例（8 月末から 9 月初めの時期として）

①農作物の収穫（ブルーベリー、じゃがいも、ピーマン、なす、ささぎ、しその葉、もも、とうもろこし、なし、枝豆、トマト、キュウリ、いんげん、メロン、ズッキーニ、長ねぎ）

②りんごの葉とりと銀シートの設置、大根の間引き、すももの葉つみ、いちごの苗うけ、ながいも洗いなど。



4. 成果と課題

今後経験することがないような貴重な体験であり、ほとんどの生徒は苦労しつつもやってよかったと感想を述べている。農業の一端にふれることで、口にする食物の大切さを感じると共に、食物を育てる環境への理解が深まったといえる。課題としては、貴重な体験をどのように学習につなげるかについては今後も工夫する余地がある。